

可搬型階段昇降機 【ウエルキャリア】

取扱説明書



(クローラベルト角度調整式)

P 2 . . .	はじめに／ご使用前に
P 3 . . .	各部の名称
P 4 . . .	製品の仕様／操作者の条件／各部の材質
P 5 . . .	梱包物
P 6 . . .	製品の組み立ての手順
P 7 . . .	製品の折り畳みの手順
P 8 . . .	使用方法（昇降前の準備手順／昇り手順）
P 9 . . .	使用方法（降り手順）（バッテリーはずし方）
P 1 0 . .	バッテリーと充電器の注意事項
P 1 1 . .	バッテリーの特性と製品仕様
P 1 2 . .	バッテリーの操作と表示

■はじめに

本書は、ウエルキャリアの所有者の方及び、ご使用者の方へ必ずお守り頂きたいこと（安全上の注意事項、必ず実施頂きたいこと、取扱いの注意事項）を記載致しております。

- ご購入時のご使用前には必ず良くお読みいただき、正しくご使用ください。
- 本書は必要な時にすぐに読めるよう、お手もとに大切に保管下さい。
- 本書の内容について、ご不明な点、ご理解いただけない点がある場合は、当社または販売店まで

お問い合わせ下さい。

■ご使用前に

出荷時には、十分な検査をしておりますが、ご使用前に点検をお願い致します。

部品の破損、ボルト・ナットの脱落はないか、ガタつきや不具合はないでしょうか。 点検をお願い致します。

ウエルキャリアの商品や付属品をご使用になる前に、気になる点がございましたらご連絡をお願い致します。



【警告】

- ウエルキャリアは、人を乗せて階段を昇降するものです。本来の目的以外には使用しないで下さい。
- 故障、異常のある時には、使用しないでください。
- 雨天時や、路面がぬれている場合は、使用しないでください。滑り落ちる可能性があります。
- モーターやバッテリーの発火の恐れがありますので、火の元へは近づけないでください。
- 最大積載量が120kgを超えてのご使用はおやめ下さい。
- 特殊な階段などのご使用はおやめ下さい。（らせん階段や、脚立等）
- 長時間ご使用にあたり、バッテリーやモーター等、熱くなった場合はご使用をおやめ下さい。
- キャタピラベルトが収まらないサイズでの階段での使用はおやめ下さい。



【注意】

- 車椅子としてご使用の際、溝や長い昇り降り坂でのご使用は危険です。
- エレベーターを使用の際、ドアのすきまに車輪が落ち込まないか必ず確認してください。
- 定期的に、点検・清掃・整備をして下さい。

ボルトやナットの緩み・脱落、フレームのゆがみ、ガタつき、キャタピラベルトの摩耗や劣化、泥やほこりなどはぬれた布でふき取って下さい。あと乾いた布で拭いて下さい。

●保証書・・・保証期間は1年間です。但しバッテリーは6カ月となります。大切に保管をお願い致します。（別紙）

●アフターサービス・・・万が一故障や不具合がございましたら、お買い上げいただいた販売店

または弊社まで恐れ入りますがご連絡をお願い致します。

	安全にかかわる注意情報を示してあります。
警 告	取り扱いを誤った場合、死亡・重傷・障害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注 意	取り扱いを誤った場合、物的障害の発生が想定される場合を示してあります。

■ウエルキャリー 各部の名称



- リモコン(昇降時用)
左ボタン・・・降りる
右ボタン・・・昇る
・・・暗闇時のLED点灯ボタン
・・・リモコン電源ボタン
- 電池残量計
- 速度計
- 速度調整



キャタピラ角度調整調整●



- 昇降時用ハンドル（伸縮性3段階）
- ヘッドレスト
- 車椅子固定兼車椅子幅調整金具ノブ
- 車いす高さ調整ネジ2ヶ所
- 車椅子奥行調整レバー
- 本体フレーム
- 車椅子車輪受け
- 車椅子の幅調整ノブ（赤いノブ）
- 車椅子前輪



＜バッテリー付いた状態＞

●台をたたむレバー

台を畳んだ姿（車椅子固定具と車輪受け具はずした姿）



- 昇降時用ハンドル高さ調整レバー
- 平坦面用ハンドルレバー
- クローラーベルト
- クローラーベルト用フットレバー（畳むとき用）
- クローラー用フットレバー（出すとき用）
- 後輪タイヤ（ロック付き）
- バッテリーを取り外すときはクローラベルトを最後まで閉じずに
少し手前で広げた状態で取り出してください。
最後まで閉じてからは出し入れが狭いので難しいです。



リチウムイオン バッテリー (旧画像)
装着時拡大図

■製品の仕様

品 名	可搬型階段昇降機【ウエルキャリア】
品番	A D－W5ME
本体サイズ (高さ×幅×奥)	使用時：上段164中段146下段1 2 8×3 5×75 (cm) 収納時：146×35×61.4 (cm)
重量	約36kg
搭乗人数	1名
最大荷重	利用者体重最大約1 2 0 kg
昇降速度	歩行4 5 歩／分 (高速時目安)
モーター	D C 2 4 V
バッテリー	D C 24V 13A h
充電時間	最長約5 時間 (使用状況による)
標準付属品	バッテリー (着脱式)／専用充電器／盗難防止用鍵 (2個) ヘッドレスト

※品質向上の為、予告なしで仕様変更の場合があります。

■操作者の条件

※操作者の条件

操作人数	1名
年齢	16歳以上70歳以下
身長	150 _{cm} 以上
体重	45kg以上
病歴	発作性で病気などで倒れたことのない方
四肢の状況	両手・両足が不自由でない方
視覚障害	視覚や聴覚に問題のない方

※操作をされる方は、必ずご購入前に当社又は代理店の注意事項の説明を受けられた方のみとします。

■各部の材質



梱包時



使用時

・本体フレーム	アルミニウム合金／鉄
・ヘッドレスト	ウレタンフォーム/ポリエステル
・ハンドルカバー・	ポリウレタン系樹脂
前輪／後輪	ゴム／プラスチック／鉄
・クローラーベルト	合成ゴム

■梱包内容

- ご購入後、下記の商品が入っているかご確認をお願い致します。

- ウエルキャリー本体



※畳んだ状態

- 六角レンチ

- 専用充電器／リチウムイオンバッテリー／盗難防止用鍵2個



- ヘッドレスト



- 小物入れ（充電器・ヘッドレスト・・・・）



- 取扱説明書（本書）

- 品質保証書（購入年月日と製品番号が記載されたもの）

記載無きものは保証出来ない場合がありますので、必ずご確認をお願い致します。

■車椅子載せ方手順

②ネジ左右4ヶ所で車椅子握るフレーム握の高さを調整します。

③車椅子フレーム握る奥行を調整します。

①



黒いノブを引き奥行(前後)を合わせます。(左右共)

④赤いノブを上へ持ち上げ前にしてロック解除します。



ロック時 (拡大)

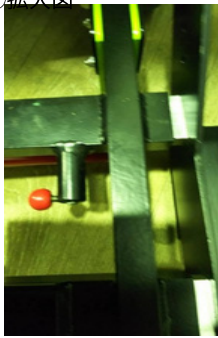
ロック解除時

①平坦な場所で受け台を広げカスターをロックし、左右共にカスターのロックがONになっていることを確認して下さい。

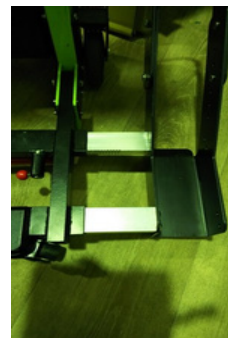
⑤



⑤拡大図

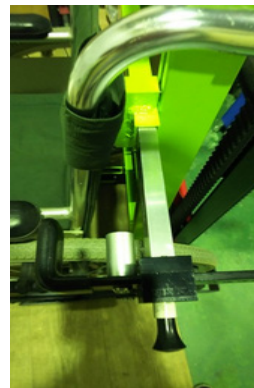


⑤

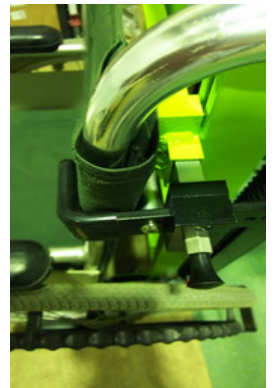


⑤車輪幅を合わせます。赤いノブを引き上に回します。⑥車輪幅に合わせたら必ず赤いノブは横にしてロックしてください。

⑦ それぞれ調整したら車椅子を載せます



⑧



⑧フレームが溝に入ったら赤いノブを正面から横へ下げてロックします。

***念のためロックされてるから確認お願いします。**

(事故防止必ず守ってください)



車いすフレームが溝にセット

■車椅子の降ろし方手順とたたみ方

■車椅子の降ろし方

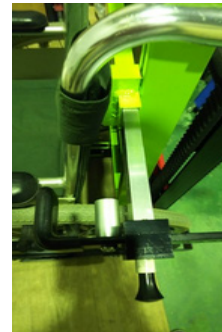


①キャスターをロックします。②赤いノブで固定具を緩めます

②



③



③黒いノブを引き手前に固定具を伸ばします

④



⑤



⑥



④車椅子を降ろします。

⑤赤いパイプを前に押し昇降レバーを下げます。

⑥赤いパイプを下へ押しベルトを畳む

*このままでも置いてけます。

■たたみ方

更にコンパクトにしたい場合（バッテリー付けた状態のみ）

⑦



⑧



⑧車椅子固定具レバーで固定具左右抜きます。

⑨



⑨赤いノブを手前に引き上に向けてノブを止めてから車輪受けを抜きます。

⑦枕をはずしてから赤いパイプを前に押し昇降時ハンドルを下げます。

⑩



完成（正面）

⑩赤いレバー引き台をたたみます。

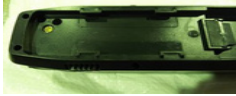


完成（横側）

■使用方法（昇降前の準備手順／昇り手順）

＜昇降前の準備手順＞

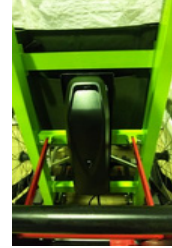
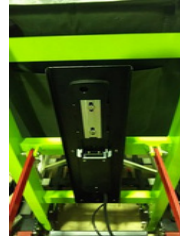
- ①キャスターのロックがONになっている事を確認して下さい。
- ②車椅子をしっかりと装着して下さい。
- ③クローラベルトを開きバッテリー取り付けます。



バッテリー裏側

爪4ヶ所

本体側



バッテリー側の爪を本体側凹にバッテリーを合わせ→方向に上から下へ最後まで差し込みます。

- ④ヘッドレストが介護者の後頭部の位置へくるよう高さ調節して下さい。
- ⑤十分に充電されたバッテリーの電源をONにします。
- ⑥リモコン操作の電源をONにします。

※必要に応じて、夜間や暗い階段などでは
足元などを照らすライトをお使いください。
これで準備は完了です。

＜昇り手順＞。

- ①図1の様に「ウエルキャリア」を階段に近づけ10cmぐらいのところで、ゆっくりクローラベルトが階段に接着するまで倒して下さい。
- ②図2の操作ボタン(黄色⑥)クローラベルト開く(黄色⑦)クローラベルトとじめるで階段の勾配角度合わせてください。

右ボタン「上がる」を押すと、クローラベルトが回転し、昇って行きます。※ボタンを放せば止まります。

- ③昇りきると、ウエルキャリアを 起こした際に前輪と後輪が水平になるまでそのまま下がってください。 図3

※前輪が一段でも下で着地すると、階段から落下のする危険がありますので
必ず図3の様に、前輪が後輪と水平に着地できる事を 確認してから、 起こして下さい。)

図1



図2



図3



必ず前輪が着地してから起こす
(ウエルキャリアの前輪)

■使用方法（降り手順）（バッテリーはずし方）

＜降り手順＞

（車椅子は自走式使用）

- ①図1の様に、「ウエルキャリア」の前輪が落ちないように確認しながら階段に近づけ、ゆっくり倒して下さい。
- ②倒したまま、図4のリモコン操作の左ボタン「下がる」押すと前に進み、階段とクローラベルトが並行に沿うようにゆっくり進んでいきます。※ボタンを放せば止まります。
- ③図3のように下まで降りた際、クローラベルトが一番下の段に接地したことが確認出来れば、起こすことができます。

図1



図2



足をかけると倒しやすいです

図3



図4



＜バッテリーはずし方＞



クローラベルトを少し広げた状態
ではずしてください。
最後まで閉じるとバッテリーは外れません。

■バッテリーと充電器の注意事項



警告

～バッテリーの取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・バッテリーケースに損傷や傷がある時、または異臭がする時は使用しないでください。
(異常を感じたら、すぐに販売店または弊社までご相談下さい。)
- ・バッテリーに水をかけたり、水の中に入れないでください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。
- ・バッテリーを分解・改造はしないでください。
- ・バッテリーを火中に投入したり、過熱はしないでください。発熱、発火、破損、故障の原因となります。

～充電器の取り扱い中 感電や火災を防ぐために～

- ・充電器を他の電気機器等に使用すると、火災や破裂の原因になりますので使用しないでください。
- ・充電器を水で濡らしたり雨中で使用しないでください。感電や火災の原因になります。
- ・電源プラグを根元まで確実に差し込んで下さい。
差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。
- ・コードの上に物を乗せたり、はさんでの固定はしないでください。火災や感電の原因になります。
- ・濡れた手で電源プラグを取り扱ったり、充電端子に触れたりしないでください。感電するおそれがあります。
- ・コードを束ねた状態で使用したり、充電器本体に巻きつけて保管しないでください。
コードの損傷により火災や感電の原因になります。
- ・充電器を落としたり、衝撃を与えないでください。発熱・発火・破損の原因となります。

～充電中 感電や火災を防ぐために～

- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないで下さい。
たこ足配線などで定格を超えると発熱により火災の原因となります。
- ・充電中は長時間、皮膚を充電器の同じ場所に触れさせないでください。低温やけどのおそれがあります。
- ・幼児やペットが触れるところに放置しないでください。感電や火災、故障の原因になります。
- ・充電中に周囲にカバーしたり、上に物を置かないでください。内部が発火し、火災のおそれがあります。
- ・ガソリンなどの引火物や引火性ガスの近くでは充電しないでください。火災や発熱などの原因となります。
- ・電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いて下さい。湿気などの絶縁不良となり、火災の原因になります。
コードが損傷している時は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。

■バッテリーの特性と製品仕様

ウエルキャリーは、リチウムイオン電池を装備しております。

このバッテリー ： リチウムイオン電池13Ah

リチウムイオン電池は軽量で電池容量に優れたバッテリーですが、以下の特性があります。

- ・過度の暑い環境／寒い環境で性能が低下する。
- ・使用していなくてもわずかな放電する。
- ・バッテリーの残量にかかわらず、充電できる。
- ・満充電のバッテリーを繰り返し充電すると劣化が早くなる。

※充電に適した環境

過度に暑い場所や寒い場所では正しく充電できないことがあります。

以下の充電に適した環境で行って下さい。

- ・温度が15～25℃の室内
- ・雨や水にぬれないところ
- ・直射日光に当たらないところ
- ・風通しがよく湿気がないところ
- ・**幼児やペットが触られないところ**

※バッテリーの寿命と交換

バッテリー容量は充放電を繰り返し（700～900サイクル）行くと、新品の時の約半分にまで低下します。また長期間保管している時も、わずかな放電ですが、バッテリー容量は低下します。

バッテリー容量が低下すると、一充電当たりの走行距離が短くなります。充電しても回復の兆しが見えなければ、交換時期です。

出来るだけ早めのバッテリーを交換して下さい。

なお、この場合の交換は有料となります。

※充放電の「1サイクル」とは、満充電したバッテリーをバッテリー残量が0（ゼロ）になるまで使用し、再び満充電にする一連の工程をいいます。

※バッテリーの交換時のお願い

リチウムイオン電池は資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）で、使用後の回収および再資源化が義務付けられています。交換したバッテリーの回収は、ご使用の地方自治体にご相談下さい。



※バッテリーの充電方法

①充電器とバッテリーをつなぎます。

②コンセントを差し込みます。

③バッテリースイッチをONにする。

（充電器のランプが赤から黄緑色に変わると、充電が完了です。）

※年の為、バッテリー本体のメモリでもご確認ください。

蓄電池	品番・種類	JG2413 リチウムイオン電池
	定格電圧	D C 2 4 V
	定格容量	1 3 A h
	電源	A C 100－240 V 50-60 H z
	消費電力	D C 4 2 . 0 V 2 . 0 A
	充電時間	約 5 時間

※充電時間は、お買い求めいただいた「らく段」に装備されているバッテリーと充電器を使用して、バッテリーの残量ランプの1灯点滅まで使用した時、満充電までのおおよその時間です。
バッテリーの種類および充電器の種類によって充電時間は異なります。

■バッテリーの操作と表示

＊バッテリー本体の表面には下記のようにボタンとメモリがあります。

右端にありますメモリの中央ボタンを押すと、充電残量を示すランプが灯ります。(離すと消えます)

【参考】4つのランプが灯り、緑3個で満充電できてます。
電池が減少すると緑のランプが1個ずつ消えていきます。
満充電だと約60Kg体重の方で約2,000段程度使用が可能です。
赤色一つで要充電ですが緑1個で充電される方が充電時間

が早いです。

※使用状況・環境により変動します。



＊バッテリー本体の表面と裏面には下記の様にボタンや充電器差し込み口があります。



充電器差し込み口

盗難防止鍵穴

バッテリー検査

用



主電源（本体にシール表示有り）

がON／○がOFFです。

（使用しない時はOFFにしてください。）



本体に取付るとスイッチは真下にきます。



本体との結合部

半分凹んでる面を下側にして中央ではめ込み
下へ最後まで押し込むと装着できます。

はずす時は上へ押します。

その時バッテリーが落ちないように気をつけて
ください。

■こんな時

*キャタピラが動かない	充電できていますか？ バッテリーが奥まで入ってますか？
*残表示が表示されない	充電できていますか？ バッテリーが奥まで入ってますか？
*足元ランプがつかない	バッテリーをONにして充電していますか？
*充電ができない	充電がおわると必ずOFFに！！

よくある動かない原因はバッテリーがキチンと最後まで入っていないことが多いです。
今一度確認をお願いいたします。

*解決しない場合は販売店までご連絡ください。



:

株式会社プラスワン

〒454-0013

愛知県名古屋市中川区八熊2丁目1-1

TEL 052-990-3406

FAX 052-212-6401